

# 小中学校、保育施設等における 熱中症予防について

町田市議会 2020年6月定例会 一般質問 矢口まゆ

# 保育施設等での、新型コロナウイルス感染拡大予防に関連するリスク

- マスクの着用による体温の上昇
- 換気による室温の上昇
- マスクで顔が隠される事により体調異変に気が付きにくい可能性
- マスクの着用による窒息
- マスクの着用による呼吸や心臓への負担
- マスク着用による皮膚疾患
- 保育者の顔が見えない事による発達上の問題
- スキンシップの不足による情緒の安定や発達上の問題

健康面でのリスク

熱中症リスク

情緒の安定、  
発達に関するリスク

## 子どもは、大人よりも熱中症リスクが高い

- 大人より暑さに弱い

子ども（乳幼児・幼児）は体温調節機能が未発達です。特に汗をかく機能が未熟で、大人と比べると暑さを感じてから汗をかくまでに時間がかかり、体温を下げるのにも時間がかかってしまうため、体に熱がこもりやすく体温が上昇しやすくなります。全身に占める水分の割合が大人より高いため、外気温の影響を受けやすくなっています。気温が体表温度より高くなると熱を逃がすことができず、反対に周りの熱を吸収してしまう恐れもあります。

- 照り返しの影響を受けやすい

子どもは体重に比べて体表面積が広い分、気温など周囲の環境の影響を受けやすいと言えます。また、幼少期の子どもは大人よりも身長が低い為、地面からの照り返しの影響を強くうけます。このため、大人が暑いと感じているとき、子どもはさらに高温の環境下にいることになります。たとえば大人の顔の高さで32℃の時、子どもの顔の高さでは35℃程度の感覚です。

- 自分では予防できない

子どもは自分で自らの体調の変化を訴えられないことがあります。屋外ですずっと遊んでいると、その楽しさに夢中になってしまい、身体に異変が起きていても気づかないのです。したがって、異変がないか、周囲の大人が気にかける必要があります。

国立成育医療研究センター子どもの熱中症とは より引用

<http://www.ncchd.go.jp/hospital/sickness/children/heatstroke.html>

## 換気に関して（小中学校、保育施設等共通）

- 換気中でもエアコンの利用を続ける事。
- エアコンの温度設定や風量等については、WBGTや室温等を注視し現場の判断で速やかに変更できるようにする事。（換気により、外気温の影響を大きく受ける事になるため）
  - （以下、「令和2年度の熱中症予防行動について（周知依頼）」より引用）
  - ・新型コロナウイルス感染症を予防するためには、冷房時でも換気扇や窓開放によって換気を確保する必要があります。この場合、室内温度が高くなるので、熱中症予防のためにエアコンの温度設定をこまめに調整しましょう。
  - ・室内の温度湿度をこまめに確認し、適切に管理しましょう。

熱中症リスク

# 服装について

- 涼しい服装を心掛け、外に出る際には日傘や帽子を活用。

(令和2年度の熱中症予防行動について(周知依頼)より)

- 小中学生は、登下校の際に日傘や帽子を利用可能か
- 中学生は制服があり、服装に関する学校のきまりも様々だが、涼しく過ごせる工夫がされているか。

①ポロシャツでの登校はすべての中学校で認めているのか。

②ポロシャツが学校指定品のみしか利用できない学校はあるのか。あるのであれば、その値段は？夏のポロシャツは学校指定のみ(一着白4752円、紺4968円)と言う学校があった。

(2020年度新入生対象の入学説明会の資料より)

③夏、女子は学校指定のニットベストを着用するとしている学校があったが

(2020年度新入生対象の入学説明会の資料より)

現在はニットベスト無しで登校できているか。

④白いポロシャツのみとする学校があるが、透け防止のための重ね着が必要となる事から、他の色も認めるべきではないか。

## 塩分、水分補給について（小中学校）

Check !

- 必要に応じて水分や塩分の補給できる環境を整え、活動中や終了後にも適宜補給を行うなど、こまめに水分を補給することで、熱中症を防ぐことが可能です。

(文部科学省ホームページ 文部科学省×学校安全 より抜粋  
<https://anzenkyouiku.mext.go.jp/heatillness/index.html>)

- ①ペットボトルが禁止の学校はあるのか。
- ②持参する飲料の量を制限する学校はあるのか。
- ③学校内で、塩分の補給はできるのか。
- ④確実に朝食をとってくるよう家庭への注意喚起は出来ているのか。
- ⑤授業中の水分補給は可能なのか。